

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 主要経済指標予定 (2007年11月5日～11月9日)

発表日: 2007年11月2日(金)

第一生命経済研究所 経済調査部
担当 日本経済短期チーム
TEL: 03-5221-4528

(11月5日～11月9日の主なイベント、指標予定)

| | 指標名 | 当社予測 | 予測値 | 予測レンジ | 前回結果 |
|----------|--|-------|-------|-------------|-------|
| 11月5日(月) | 8:50 金融政策決定会合議事要旨 (9月18・19日分) 福井日銀総裁挨拶 | | | | |
| 11月6日(火) | 14:00 9月景気動向指数 | 0.0% | 0.0% | 0.0%～0.0% | 27.3% |
| | DI先行指数 | 66.7% | 66.7% | 66.7%～66.7% | 85.0% |
| 11月7日(水) | | | | | |
| 11月8日(木) | 8:50 9月機械受注 船舶電力除く民需(前月比) (前年比) | +1.5% | ▲1.6% | ▲4.3%～+8.5% | ▲7.7% |
| | | +2.2% | ▲0.9% | ▲2.9%～+7.2% | ▲2.6% |
| | 8:50 10月マネーサプライ M2+CD(前年比) 広義流動性(前年比) | +1.8% | +1.7% | +1.7%～+1.9% | +1.7% |
| | | +4.1% | +4.1% | +4.0%～+4.2% | +4.1% |
| | 8:50 10月貸出・資金吸収動向 国内銀行貸出残高(調整後前年比) | — | — | — | +1.4% |
| | 13:30 9月特定サービス産業動態統計 | — | — | — | |
| | 16:00 10月景気ウォッチャー調査 先行き判断 DI | — | — | — | 46.0 |
| | | — | — | — | 42.9 |
| 11月9日(金) | 13:30 9月鉱工業生産指数・確報 鉱工業生産指数(前月比) (前年比) | — | — | — | ▲1.4% |
| | | — | — | — | +0.8% |
| | 稼働率指数(前月比) | — | — | — | +5.1% |
| | 生産能力指数(前年比) | — | — | — | +1.2% |

(注) 市場予測はBloombergの調査をベースに作成

【注目ポイント】

9月機械受注(8日公表)は前月比▲1.6%と小幅減少がコンセンサス。プラス予想とマイナス予想に分かれているが、マイナスとの見方がやや優勢だ。関連指標をみると、工作機械受注は改善する一方で半導体製造装置受注は悪化するなど、こちらも割れている。なお、7-8月平均の値は4-6月期の水準を+6.5%上回っており、9月が前月比▲4.1%以上であれば7-9月期の内閣府見通しである前期比+3.7%は達成できる。見通し達成の可能性は高いだろう。また今月は、10-12月期の内閣府見通しも同時に公表される。見通しと実績の乖離は大きいと、これのみで判断することは危険だが、今後の設備投資を見通す上ではやはり重要だ。見通しがプラスであれば、先行きの設備投資に対してある程度安心感が生まれるが、逆に弱めの結果の場合、今後の景気下振れが意識されやすくなるだろう。

10月景気ウォッチャー調査(8日公表)では、個人消費関連の動きに注目。民間調査機関から7-9月期GDP予測が公表されているが、ほとんどの機関で7-9月期の個人消費は横ばい圏内で低迷したと予測されている。この冴えない動きが10-12月期も続くのか、それとも7-9月期の弱さは一時的で今後はある程度持ち直すのか。10-12月期の発射台となる10月分の個人消費の結果には注目する価値がある。ただし、このところの景気ウォッチャー調査は他の消費関連統計と比べて弱めに出る傾向があることには注意しておきたい。なお、住宅関連については大幅に悪化することがほぼ確実。

そのほか、9月景気動向指数(6日公表)では、DI一致指数が66.7%、DI先行指数が0.0%が予想されている。一致指数は6ヵ月連続で50%を上回り、景気回復が続いていることが改めて確認される見込みだ

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

が、今月に関しては先行指数の2ヵ月連続50%割れ（しかも0.0%）の方が注目されそうだ。

（主任エコノミスト：新家 義貴）

【重要指標の当社予測とコメント】

9月景気動向指数（先行指数／一致指数） 当社予想：0.0%／66.7% 中央値：0.0%／66.7%

D I 先行指数が0.0%、D I 一致指数が66.7%を予想する。D I 一致指数は6ヵ月連続で50%を上回る見込みだ。今年1月から3月にかけてD I 一致指数は3ヵ月連続で50%割れとなっていたが、4月以降には再び50%超え基調が定着している。輸出の持ち直しやIT部門の生産調整終了などを背景として生産活動が活発化しつつあることが影響していると思われる。また、D I 一致指数と相関が高い鉱工業生産指数で、10月の予測指数が前月比+3.8%と高い伸びが計画されていることから、10月のD I 一致指数についても50%を上回る可能性が高そうだ。当面、D I 一致指数は50%を上回って推移していく可能性が高い。

その一方で気がかりなのが、D I 先行指数の悪化である。D I 先行指数は6、7月に2ヵ月連続で50%を上回り、改善基調に転じたかとも思われたが、8、9月には再び50%割れに逆戻りした。現在の日本経済にとって、米国景気の動向が最大のリスク要因である状況に変化はないが、その他にも、住宅着工急減に伴って建設資材等の関連業界への悪影響が今後さらに強まってくる可能性、株価の低迷や原油価格高騰が企業や家計のマインドに悪影響を与え、支出が抑制される可能性、求人数の伸び悩みや賃金の停滞など、このところ懸念材料は増えている。こうした点については今後も十分注意していく必要がある。

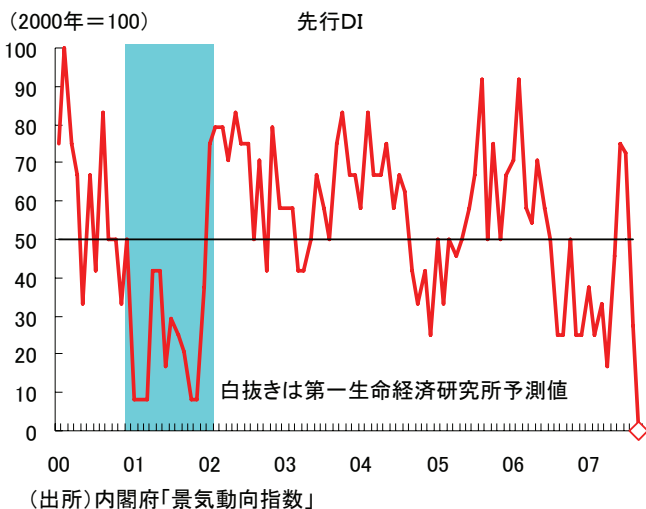
（主任エコノミスト：新家義貴）

9月機械受注・船電除く民需（前月比） 当社予想：前月比 +1.5% 中央値：同 ▲1.6%

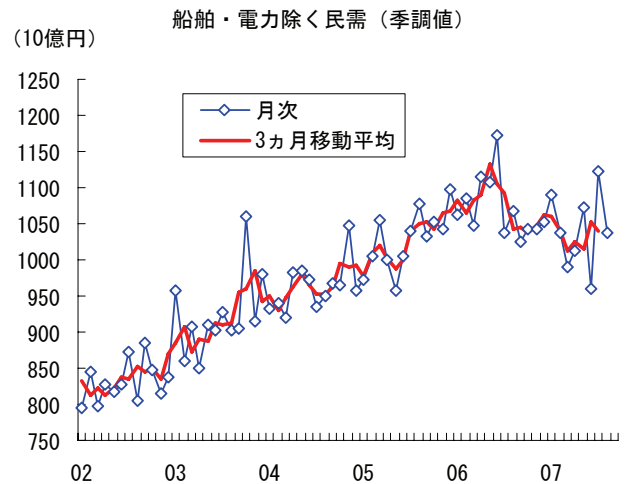
前月比+1.5%と、前月の反動もあって増加を予想する。7-8月平均の値は4-6月期の水準を+6.5%上回っており、9月が前月比▲4.1%以上であれば7-9月期の内閣府見通しである前期比+3.7%は達成できる。見通し達成の可能性は高いだろう。機械受注は1-3月、4-6月に2四半期連続で減少していたが、足元でようやく持ち直しの兆しが出てきている。日銀短観（9月調査）で、企業の設備投資意欲が未だ旺盛であることが示されていることもあり、機械投資は今後も緩やかな増加傾向が続くと思われる。

（主任エコノミスト：新家義貴）

図表 1



図表 2



以上

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

11月の経済指標公表スケジュール

| 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 |
|---|--|---|---|---|
| 29 9月商業販売統計(8:50) | 30 9月労働力調査(8:30) 9月一般職業紹介状況(8:30) 9月家計調査(8:30) 2年利付国債 | 31 9月毎月労働統計(10:30) 9月住宅着工統計(14:00) 10月日銀展望レポート(15:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30) 金融政策決定会合 (米)FOMC (米)7-9月期実質GDP(速報値) (米)7-9月期雇用コスト指数(速) (米)10月シカゴPMI (米)9月建設支出 (欧)10月消費者物価(速) | 11/1 10月自動車販売(14:00) 10月軽自動車販売(14:00) 10年利付国債 (米)9月個人所得・消費 (米)9月PCEデフレーター (米)10月ISM製造業指数 (米)10月自動車販売 (米)8月中古住宅販売保留 | 2 10月マネタリーベース(8:50) 9月家計消費状況調査(14:00) (米)10月雇用統計 (米)9月製造業受注 (欧)10月製造業PMI(確定値) |
| 5 金融政策決定会合議事要旨(9月18・19日分)(8:50) 福井日銀総裁挨拶 (米)10月ISM非製造業指数 | 6 9月景気動向指数(14:00) 40年利付国債 | 7 (米)9月消費者信用残高 (米)7-9月期非農業部門労働生産性(速) | 8 9月機械受注統計(8:50) 10月マネーサプライ(8:50) 10月貸出・資金吸収(8:50) 9月特定サービス産業動態統計調査(13:30) 10月景気ウォッチャー調査(16:00) 5年利付国債 (欧)ECB理事会 (英)BOE金融政策決定会合 | 9 9月鉱工業指数・確(13:30) (米)9月貿易収支 (米)10月輸入物価 (米)11月ミシガン大消費者センチ(速) |
| 12 10月企業物価(8:50) 9月国際収支(8:50) 10月消費動向調査(14:00) 金融政策決定会合(～13日) | 13 7-9月期GDP1次速報(8:50) 9月商業販売統計・確(13:30) 11月金融経済月報(15:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30) ※11月月例経済報告 (米)10月財政収支 (独)7-9月期実質GDP (伊)7-9月期実質GDP | 14 10月投入・産出物価指数(8:50) (米)10月小売売上高 (米)9月企業在庫 (仏)7-9月期実質GDP (欧)7-9月期実質GDP | 15 9月第3次産業活動指数(8:50) 15年変動利付国債 (米)10月消費者物価 (米)11月NY連銀製造業指数 (米)11月フィラ連銀指数 ※(インドネシア)7-9月期実質GDP | 16 金融政策決定会合議事要旨(10月10・11日分)(8:50) 9月毎月労働統計・確(10:30) 9月建設総合統計(14:00) 9月景気動向指数改訂(14:00) (米)9月対米証券投資 (米)10月鉱工業生産 (香港)7-9月期実質GDP |
| 19 ※10月全国百貨店売上高(14:30) (米)11月NAHB住宅市場指数 | 20 10月コンビニエンスストア統計(16:00) (米)10月住宅着工件数 (米)10月建設許可件数 ※(台湾)7-9月期実質GDP | 21 9月全産業活動指数(8:50) ※10月貿易統計(8:50) 20年利付国債 (米)FOMC議事録(10/31) (米)10月景気先行指標 (米)11月ミシガン大センチ(確) | 22 ※07年9月市街地価格指数(10:00) ※10月チェーンストア販売統計(14:00) | 23 (欧)11月製造業PMI(速報値) |
| 26 ※(独)11月Ifo景況感指数 ※(ロシア)7-9月期実質GDP | 27 10月企業向けサービス価格指数(8:50) | 28 10月商業販売統計(8:50) (米)ベージュブック (米)10月耐久財受注 (米)10月中古住宅販売件数 | 29 10月鉱工業指数(8:50) 2年利付国債 (米)7-9月期実質GDP(改定値) (米)10月新築住宅販売件数 (米)10月求人広告指数 (フィリピン)7-9月期実質GDP | 30 10月消費者物価・全(8:30) 11月消費者物価・都(8:30) 10月労働力調査(8:30) 10月一般職業紹介状況(8:30) 10月家計調査(8:30) 10月住宅着工統計(14:00) (米)11月シカゴPMI (米)10月建設支出 (米)10月個人所得・消費 (米)10月PCEデフレーター (欧)11月消費者物価(速) (インド)7-9月期実質GDP |

(※)印は期日が未定のもの

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

12月の経済指標公表スケジュール

| 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 |
|--|--|--|---|---|
| 12/3 11月ロイター短観(8:30) 7-9月期法人企業統計(8:50) 10月毎月勤労統計(10:30) 11月自動車販売(14:00) 11月軽自動車販売(14:00) (米)11月ISM製造業指数 (米)11月自動車販売 (欧)11月製造業PMI(確定値) (タイ)7-9月期実質GDP | 4 11月マネタリーベース(8:50) 10月家計消費状況調査(14:00) 10年利付国債 | 5 (米)7-9月期非農業部門労働生産性(確) (米)10月中古住宅販売保留 (米)10月製造業受注 (米)11月ISM非製造業指数 | 6 10月景気動向指数(14:00) 10年物価連動国債 (欧)ECB理事会 (英)BOE金融政策決定会合 | 7 7-9月期GDP2次速報(8:50) (米)11月雇用統計 (米)10月消費者信用残高 (米)12月ミンガン大消費者センチ(速) |
| 10 10月機械受注統計(8:50) 11月マネーサプライ(8:50) 11月貸出・資金吸収(8:50) 10月特定サービス産業動態統計調査(13:30) 11月景気ウォッチャー調査 | 11 11月消費動向調査(14:00) 5年利付国債 (米)FOMC | 12 11月企業物価(8:50) 10月国際収支(8:50) (米)10月貿易収支 (米)11月財政収支 (米)11月輸入物価 | 13 10月鉱工業指数・確(13:30) 10月商業販売統計・確(13:30) 岩田日銀副総裁講演 (米)10月企業在庫 | 14 12月日銀短観(8:50) 11月投入・産出物価指数(8:50) (米)11月鉱工業生産 (米)11月消費者物価 |
| 17 12月短観業種別計数及び調査全容(8:50) 10月第3次産業活動指数(8:50) 7-9月期資金循環(8:50) 10月毎月勤労統計・確(10:30) 10月景気動向指数改訂(14:00) (米)7-9月期経常収支 (米)10月対米証券投資 (米)12月NAHB住宅市場指数 (米)12月NY連銀製造業指数 | 18 10月建設総合統計(14:00) ※11月全国百貨店売上高(14:30) 20年利付国債 (米)11月住宅着工件数 (米)11月建設許可件数 | 19 10月全産業活動指数(8:50) 金融政策決定会合(~20日) ※12月月例経済報告 | 20 12月ロイター短観(8:30) ※11月貿易統計(8:50) 12月金融経済月報(15:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30) 11月コンビニエンスストア統計(16:00) (米)11月景気先行指標 (米)12月フィラ連銀指数 (米)7-9月期実質GDP(確定値) ※(欧)12月製造業PMI(速報値) | 21 2年利付国債 (米)12月ミンガン大センチ(確) (米)11月個人所得・消費 (米)11月PCEデフレーター |
| 24 ※(独)12月Ifo景況感指数 | 25 10-12月期法人企業景気予測調査(8:50) 11月企業向けサービス価格指数(8:50) ※11月チェーンストア販売統計(14:00) | 26 金融政策決定会合議事要旨(10月31日/11月12・13日分)(8:50) | 27 11月住宅着工統計(14:00) (米)11月耐久財受注 | 28 11月消費者物価・全(8:30) 12月消費者物価・都(8:30) 11月労働力調査(8:30) 11月一般職業紹介状況(8:30) 11月家計調査(8:30) 11月鉱工業指数(8:50) 11月商業販売統計(8:50) 11月毎月勤労統計(10:30) (米)11月新築住宅販売件数 (米)11月求人広告指数 (欧)12月消費者物価(速) |
| 31 (米)11月中古住宅販売件数 (米)12月シカゴPMI (米)11月建設支出 | 1/1 | 2 | 3 ※(米)12月自動車販売 | 4 |

(※)印は期日が未定のもの

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。